



にんにくの種うえ体験ボランティア



令和7年10月7日(火)13:30~

曇り空からやがて日が差し込み心地よい秋の風が吹く中、地域の方や上瀬谷小学校5年生のみなさんと一緒に、にんにくの種植えが始まりました。



高等部園芸班の生徒さんがにんにくの種を用意し、1皿10個ずつに配分。

配分されたお皿を1枚1枚、5年生の児童へ丁寧に手渡していました。

「根っこを下にして縦に植えるんだよ」「土はかけすぎないようにね」といった説明は、ポイントを押さえていてとてもわかりやすく、児童にもきちんと伝わっていたようです。



参加者全員の協力のおかげで作業もスムーズに進み、畑には次々とにんにくの種が植えられていきました。

植え終えた児童には、園芸班の生徒からポップコーンのプレゼント。

温かいやりとりがあちこちで見られ畠全体が笑顔に包まれていました。

また、司会進行も園芸班のみなさんがしっかり務めており、その頼もしい姿が印象的でした。

ポイント



根っこを下にして縦に植え込み、土は被せすぎないようにそっとかけること。

区画分けされた畠に、一つ一つ丁寧に植え付けていきました。

「同じようにすれば、うちでもにんにくができるかも?」と思ってしまいます。実際には土づくりや肥料の準備など、見えないところで多くの工夫と苦労があるそうです。

無事に収穫の日を迎えるまで、心を込めて管理が続けられます。立派なにんにくのために頑張る園芸班のみなさんの姿勢に感心しました。



今回の活動もPTAボランティアのほか、町内会、福祉施設の方々など、多くの皆様にお手伝いいただきました。

地域のみなさんのあたたかなまなざしに見守られながら、生徒がのびのびと活動する姿に、改めて多くの支えの大きさを感じることができました。

収穫は来年の5月頃!今から楽しみで仕方がありません!

